

上野運動公園野球場
外周照明設備設置工事 設計図

上野運動公園野球場 外周照明設備設置工事 図面リスト

[illegible]

電気設備工事特記仕様書

工事名称

上野運動公園野球場外周照明設備設置工事

工事場所

三重県伊賀市 小田町 地内

建物概要

野球場

工事仕様

* 包含工事の場合、 印の項目及び事項については元請業者の業務内容に含むものとする。

項 目

特 記 事 項

1．施行基準

図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。
* 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書 最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）
「公共建築設備工事標準図 最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編）
「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編）
「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」 最新版
* 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 0 5 年版」
* 消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む）
* その他関連法規、関連諸基準

2．一般事項

工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。
設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。
なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。
他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。

施工計画等

受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。
総合施工計画書
* 詳細施工図（施工図リストを含む）
主要機器、重量機器、3 k g 超過吊器具等については固定方法、吊り方法等の詳細図を作図し十分な耐震性能を確保する施工法を提案すること。
なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。

工事使用材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。
* 使用機材届出書（メーカーリスト）
* 機器明細図
* カタログ・製作図・その他諸資料
なお、機器及び材料等の選定にあたっては見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣官繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業・評価名簿（最新版）又は、これらと同等以上のものとする。
また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。

工程表

関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。
なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。

工事写真

建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第 2 版）・建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。
なおＣＤの提出部数は「電子納品」を参照
* 代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出しＬ判相当サイズで印刷。（Ａ４版用紙に両面印刷にて 3 枚／ページ） 1 部

完成写真

主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相当サイズで印刷する。（Ａ４版用紙に 3 枚／ページ）1 部
撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。

完成書類

工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。
書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。
工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真
製本図面（竣工図、施工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。
印刷サイズは、原図サイズ及びＡ３縮小版とし、部数は監督員の指示による。
白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。
引渡目録、工事書類預り書
工事書類（工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等）
* 工事書類（打合記録、工事材料搬入報告）
* 完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等）
* 官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等）
* その他監督員の指示する書類
ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。
なお、完成書類の著作権にかかる使用权は発注者に移譲するものとする。

完成時の操作説明

操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。
また、必要に応じて簡易な操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

完成確認、完成検査時の電源確保

機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。

・足場

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成 2 1 年 4 月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の 2 の（ 2 ）手すり据置方式又は（ 3 ）手すり先行占用足場方式により行うこと。

項 目

特 記 事 項

施工条件

監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。

事故の発生時

工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。
なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

発生材の処理等

発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。
（マニフェスト A、E 票の写を監督員に提出する）

電子納品

工事完成図書は、竣工図・施工図の C A D データ（ J W W ）及び P D F を格納。

諸手続

工事に伴う関係官公署、電力会社等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。

既設との取合い

本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。

既設設備の調査

既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。

工事中の保安管理

新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡までの電気保安管理にかかると費用は本工事に含まれる。

不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第 2 条第 1 項第 1 項第 1 0 号）を受けた場合の措置について
（ 1 ）受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第 2 条第 1 項第 1 項第 8 号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
（ 2 ）（ 1 ）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。
（ 3 ）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

3．耐震基準

耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成 8 年版」（建設大臣官房長官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（ 2 0 0 5 年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。
（ 1 ）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（ K s ）
（ 2 ）地域係数は 1 . 0 とする。
（ 3 ）自重が 1 0 0 k g 以下の比較的低量の機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。
（ 4 ）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。
（ 5 ）機器の耐震計算書を提出すること。
重量 1 k N（ 1 0 0 k g ）以上のアンカー取付機器
盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。

4．施工

（ 1 ）予備線
・長さ 1 m 以上の入線しない電線管には、 1 . 2 mm 以上のビニール被覆鉄線を挿入すること。
（ 2 ）絶縁処理
・機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。
（ 3 ）はつり
・既設のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用すること。
（ 4 ）再使用機器
・取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定及び機能確認のうえ取付ける。なお施工前後で比較をおこなえるよう、工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。
（ 5 ）行先表示等
・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。
（ 6 ）塗装
・エッチングプライマー 1 種の下地処理のうえ、指定する色にて調合ペイント 2 回塗りとする。
金属管、 2 種金属線び、吊りボルト、支持具等鋼板製（ S U S 、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。
（ 7 ）保護キャップ等
・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ 2 m 以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。
（ 8 ）防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。（ 8 ）セパレータ
・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。
（ 9 ）地中埋設配管及び埋設表示杭・シート
・配管の埋設深さは、 G L - 9 0 0 とする。（埋設 W シートを布設のこと）
（ 1 0 ）防火区画等の貫通部は、関係法令に適合し、貫通部に適合した方法で、防火処理を行う。

5．その他

（ 1 ）使用機械
・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
（ 2 ）測定機器の校正記録
・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。
（ 3 ）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

工事範囲

◎電灯設備

電気方式 種別

○単相 3 線式（ 2 0 0 / 1 0 0 V ） ◎単相 2 線式（ ◎1 0 0 V ○2 0 0 V ○（ ） V ）

工事範囲

◎配管 ◎配線 ◎機器取付 ◎ボール灯基礎工事

配線器具

○特別なものを除き大角型とする

プレート

○新金属 ○ステンレス ○フルカラー（ ）

照明器具

○蛍光灯の 2 0 W 以上、 H I D 器具の安定器は何れも省電力型を優先とする。
○パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。 ◎ 図示

フロアコンセント

○アップコン ○収納式（上下可動） ○固定式

非常照明

○ B T 内蔵型 ○ B T 別置き型

○電灯・動力幹線設備

電気方式

○単相 3 線式（ 2 0 0 / 1 0 0 V ） ○単相 2 線式（ 2 0 0 V ） 6 0 H z 6 0 H z

工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取付 ○引込 ○引込み工事負担金 ○警報設備

盤類形式

○埋込み型 ○露出型 ○民間仕様 ○盤内には、施工年月、請負者名、施工者名を記載する。

雷サージ保護

○設置（・単相用・動力用） ○設置しない ○ S P D（低圧用） ○クラス ○クラス

その他

○警報設備 ○動力設備

電気設備工事指定資機材通用規格及びメーカーリスト

分 類

資 機 材 名

適 用 範 囲

規 格 ・ メ ー カ ー 等

電線

電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）

一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの

J I S 規格適合品
J C S（日本電線工業会規格）規格適合品

上記以外の一般配線工事に使用するもの

J I S 規格適合品

圧着端子
裸圧着スリーブ

一般配線工事に使用するもの

J I S 規格適合品

電線保護物類

金属管、 V E、 P F、 H I V E、 F E P、 C D、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品

一般配線工事に使用するもの

J I S 規格適合品
J I S 規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品

配線器具

コンセント、スイッチ

一般配線工事に使用するもの

J I S 規格適合品
J I S 規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品

照明器具

蛍光灯器具（省エネ型を優先使用）

J I S 規格適合品
（社）日本照明器具工業会標準（ J I L 規格）適合品
メーカーは「設備機材等評価名簿」による

盤類

分電盤、実験盤

J I S 規格適合品
メーカーは「設備機材等評価名簿」による

マンホール
ハンドホール

蓋

鋳鉄製

メーカーは「設備機材等評価名簿（機械設備機材評価名簿 鋳鉄製ふた）」による

柵

レディミクストコンクリート、セメント

J I S 規格適合品

注

・「 J I S 規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書に J I S マーク表示、または J I S 規格証明書等の添付）のあるものをいう。
・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（電気設備 機 材 機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
・特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

PROJECT

上野運動公園野球場 外周照明設備設置工事

PROJECT NO.

DRAWING

電気設備 特記仕様書

SCALE

APPROVED

CHECKED

DRAWN

DATE

DRAWING NO.

E - 1(3)

13 W

8'

2PELB 50 / 30 x 1

2PMCB 50 / 20 (100V) x 2

24Hタイマー
(停電補償付き)

COS

TM

1

100V

COS

TM

2

100V

x

AS
(盤側面取付)

A

LED街路灯(78W - 6600lm) 耐風速60m / sec

12灯

LED(昼白色)5000K
寸法:幅240×73×高323
本体:アルミダイカスト メタリックシルバー
全面カバー:強化ガラス透明
レンズ:アクリル
定格電圧:AC100V ~ 242V
消費電力:78W(AC100V時)75W(AC200V時)
入力電流:0.780A(AC100V時)、0.385A(AC200V時)
器具光束:6,600 lm
固有エネルギー消費効率:88.0 lm/W(AC200V時)
光源寿命:60,000時間(光束維持率85%)
防雨形 LED屋外小形投光器(超広角形タイプ)
落下防止ワイヤー付
耐雷サージ強化仕様

GL

E2.0

ED

600x600

500

1300

4500

B

LEDローポールライト(10.0W - 1160lm)

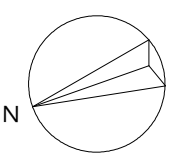
2灯

防雨型、昼白色(5000K)
本体:アルミダイカスト
灯具:ガラスグローブ
ボール:アルミ シルバー
ボール径 100 高800(組合せ時約GL1000mm)
光源寿命40000時間(光束維持率70%)

PROJECT 上野運動公園野球場 外周照明設備設置工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 盤類結線図・器具姿図			SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. E - 2	

東芝 LEDS-08904WX-LJ9 相当品

東芝 LEDG88906(S)+LPD81010(S) 相当品



PROJECT			PROJECT NO.
上野運動公園野球場 外周照明設備設置工事			
DRAWING			SCALE
野球場外周街路灯設備 配置図			1:600
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO.
			E - 3(E)